

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第3期第3四半期(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社ノエビアホールディングス

【英訳名】 N o e v i r H o l d i n g s C o . , L t d .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 倉 俊

【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島中町六丁目13番地の1

【電話番号】 078 (303) 5121(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 羽 生 光 嘉

【最寄りの連絡場所】 神戸市中央区港島中町六丁目13番地の1

【電話番号】 078 (303) 5121(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 羽 生 光 嘉

【縦覧に供する場所】 東京本社
(東京都中央区銀座七丁目6番15号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第2期 第3四半期 連結累計期間	第3期 第3四半期 連結累計期間	第2期
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日
売上高 (千円)	35,770,780	34,967,340	47,220,289
経常利益 (千円)	4,617,744	6,320,408	5,451,204
四半期(当期)純利益 (千円)	2,142,036	3,229,352	2,787,693
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,215,202	3,713,200	2,847,568
純資産額 (千円)	49,057,295	51,895,762	49,689,660
総資産額 (千円)	83,562,673	86,266,799	83,701,086
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	56.10	86.25	73.37
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	58.7	60.1	59.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,833,313	5,019,523	4,228,155
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,528,419	△413,031	585,508
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△4,812,156	△1,497,696	△4,813,267
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	37,808,121	39,512,900	36,253,228

回次	第2期 第3四半期 連結会計期間	第3期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	28.71	43.53

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、金融緩和や経済成長施策などにより、円安や株価上昇が進行し、景気回復への兆しが見え始めております。

当社グループが主に事業を展開する国内化粧品市場は、高価格帯商品に緩やかな回復が見られるものの、依然として低価格帯商品への需要は高く、厳しい競争が続いております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,967百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は6,129百万円（同38.3%増）、経常利益は6,320百万円（同36.9%増）、四半期純利益は3,229百万円（同50.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①化粧品事業

カウンセリング化粧品では、レッスン型サロン「ノエビアビューティスタジオ」において、お客さまへのサービス活動を引き続き推進しました。セルフ化粧品では、主要ブランドの店頭プロモーションを強化し認知拡大を図りました。

その結果、化粧品事業の売上高は24,196百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は6,499百万円（同29.9%増）となりました。

②医薬・食品事業

機能的ドリンク及び栄養補助食品は堅調に推移したものの、医薬品ドリンクは若干前年を下回りました。

その結果、医薬・食品事業の売上高は9,591百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は890百万円（同37.3%増）となりました。

③その他の事業

航空関連事業において欧米市場の需要は不安定なものの、堅調に推移しました。

その結果、その他の事業の売上高は1,179百万円（前年同期比49.0%増）、セグメント利益は104百万円（同43.5%増）となりました。

なお、カウンセリング化粧品は、「基礎化粧品フェア」（冬、夏各2ヶ月間）を実施するため、第1四半期（10月1日～12月31日）及び第3四半期（4月1日～6月30日）の売上高及び利益の比重が高くなる傾向にあります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,565百万円増加し、86,266百万円となりました。主に、現金及び預金が3,292百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ359百万円増加し、34,371百万円となりました。主に、未払法人税等が1,572百万円増加したことと、減少要因として長期預り保証金が611百万円、支払手形及び買掛金が284百万円、未払金が259百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,206百万円増加し、51,895百万円となりました。主に、四半期純利益により利益剰余金が1,731百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は60.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末の36,253百万円に比べ3,259百万円増加し、39,512百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は5,019百万円（前年同期比1,186百万円の収入増）となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益6,312百万円と、減少要因として法人税等の支払額1,971百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は413百万円（前年同期比2,941百万円の支出増）となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出320百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1,497百万円（前年同期比3,314百万円の支出減）となりました。これは、主に、配当金の支払額1,497百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、740百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更は、次のとおりであります。

化粧品事業及び医薬・食品事業において、(株)ノエビアと常盤薬品工業(株)の研究部門の組織及び業務の統合を行い、(株)ノエビアの組織基盤のもとに研究組織を構築し、ノエビアグループ全体の総合研究所としての役割を担い、新たにスタートいたしました。近年の化粧品、医薬品、食品市場における取り巻く環境の急速な変化に合わせ、新体制では最先端の技術を有する大学や医療機関等の外部研究機関との連携を強化させる事により、研究開発領域を拡大いたします。更に多様化するお客様のニーズを的確に捉え、よりスムーズに、よりコンスタントに、市場競争力のある高品質・高付加価値商品を引き続き提供してまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	145,000,000
計	145,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	37,442,840	37,442,840	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	37,442,840	37,442,840	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日	—	37,442,840	—	7,319,000	—	1,830,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 37,440,700	374,407	—
単元未満株式	普通株式 2,140	—	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	37,442,840	—	—
総株主の議決権	—	374,407	—

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式58株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

② 【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,253,228	41,545,282
受取手形及び売掛金	※1 11,754,160	※1 10,645,363
商品及び製品	5,694,420	6,093,312
仕掛品	206,578	148,902
原材料及び貯蔵品	1,299,798	1,131,589
繰延税金資産	1,097,329	1,245,372
未収入金	1,761,543	1,718,180
その他	455,123	595,682
貸倒引当金	△55,945	△54,709
流動資産合計	60,466,236	63,068,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,005,520	4,840,126
機械装置及び運搬具（純額）	792,277	673,826
土地	13,642,382	13,642,382
リース資産（純額）	30,118	31,751
建設仮勘定	1,609	9,631
その他（純額）	203,938	242,389
有形固定資産合計	19,675,847	19,440,107
無形固定資産		
のれん	32	—
ソフトウェア	328,769	194,263
その他	98,853	99,764
無形固定資産合計	427,654	294,027
投資その他の資産		
投資有価証券	409,322	661,523
繰延税金資産	1,796,916	1,778,279
その他	1,021,442	1,082,633
貸倒引当金	△96,333	△58,748
投資その他の資産合計	3,131,347	3,463,688
固定資産合計	23,234,849	23,197,822
資産合計	83,701,086	86,266,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,824,771	4,540,388
リース債務	10,262	11,365
未払金	3,393,112	3,133,688
未払法人税等	1,294,737	2,866,864
賞与引当金	161,982	147,522
返品調整引当金	691,425	576,239
その他	1,377,274	1,414,282
流動負債合計	11,753,567	12,690,350
固定負債		
リース債務	21,358	21,969
長期預り保証金	17,358,866	16,747,519
退職給付引当金	4,692,944	4,619,544
その他	184,689	291,651
固定負債合計	22,257,858	21,680,685
負債合計	34,011,425	34,371,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319,000	7,319,000
資本剰余金	3,484,620	3,484,620
利益剰余金	39,372,029	41,103,671
自己株式	△50	△138
株主資本合計	50,175,599	51,907,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,651	201,348
為替換算調整勘定	△570,493	△268,374
その他の包括利益累計額合計	△530,841	△67,025
少数株主持分	44,902	55,634
純資産合計	49,689,660	51,895,762
負債純資産合計	83,701,086	86,266,799

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	35,770,780	34,967,340
売上原価	12,145,903	11,403,709
売上総利益	23,624,876	23,563,631
販売費及び一般管理費	19,191,726	17,433,706
営業利益	4,433,150	6,129,924
営業外収益		
受取利息	9,046	7,657
受取配当金	8,540	8,800
受取賃貸料	41,035	38,408
為替差益	17,293	23,866
その他	119,890	121,254
営業外収益合計	195,806	199,987
営業外費用		
コミットメントフィー	9,008	7,972
その他	2,203	1,531
営業外費用合計	11,212	9,504
経常利益	4,617,744	6,320,408
特別利益		
固定資産売却益	113,030	7,499
投資有価証券売却益	2,563	—
事業譲渡益	64,000	—
特別利益合計	179,594	7,499
特別損失		
固定資産除売却損	50,947	15,798
減損損失	86,187	—
その他	5,000	—
特別損失合計	142,134	15,798
税金等調整前四半期純利益	4,655,204	6,312,109
法人税、住民税及び事業税	1,925,154	3,185,053
法人税等調整額	582,202	△109,237
法人税等合計	2,507,356	3,075,816
少数株主損益調整前四半期純利益	2,147,847	3,236,293
少数株主利益	5,811	6,940
四半期純利益	2,142,036	3,229,352

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,147,847	3,236,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,198	161,696
為替換算調整勘定	43,157	315,210
その他の包括利益合計	67,355	476,907
四半期包括利益	2,215,202	3,713,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,207,516	3,693,168
少数株主に係る四半期包括利益	7,685	20,031

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,655,204	6,312,109
減価償却費	1,317,966	828,942
減損損失	86,187	—
のれん償却額	615	7,547
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,380	△40,155
賞与引当金の増減額 (△は減少)	95,153	△15,211
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△133,934	△115,186
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△411,906	△73,400
受取利息及び受取配当金	△17,586	△16,458
為替差損益 (△は益)	△16,212	△29,307
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,563	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△62,083	8,299
売上債権の増減額 (△は増加)	446,013	1,186,902
たな卸資産の増減額 (△は増加)	575,600	24,631
仕入債務の増減額 (△は減少)	508,474	△316,032
預り保証金の増減額 (△は減少)	△848,018	△611,732
その他	△1,018,836	△175,746
小計	5,162,695	6,975,202
利息及び配当金の受取額	26,903	15,794
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,356,284	△1,971,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,833,313	5,019,523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△31,731	△2,030,059
定期預金の払戻による収入	2,556,452	2,000,000
投資有価証券の取得による支出	△1,350	△1,660
投資有価証券の売却による収入	52,248	—
子会社株式の取得による支出	—	△16,814
有形固定資産の取得による支出	△242,351	△320,588
有形固定資産の売却による収入	198,383	9,319
無形固定資産の取得による支出	△3,232	△53,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,528,419	△413,031
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3,325,210	△87
配当金の支払額	△1,486,945	△1,497,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,812,156	△1,497,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,737	150,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,582,314	3,259,672
現金及び現金同等物の期首残高	36,148,890	36,253,228
連結子会社の会計期間変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	76,916	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 37,808,121	※1 39,512,900

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	226,098千円	186,575千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

(株)ノエビアでは、「基礎化粧品フェア」(冬、夏各2ヶ月間)を実施するため、その期間に対応する連結会計期間の売上高及び利益の比重が高くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
	(平成24年6月30日現在)	(平成25年6月30日現在)
現金及び預金	37,808,121千円	現金及び預金 41,545,282千円
預入期間が3か月超の定期預金	一千円	預入期間が3か月超の定期預金 Δ 2,032,381千円
現金及び現金同等物	37,808,121千円	現金及び現金同等物 39,512,900千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	1,487,622	36	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、平成23年11月16日開催の取締役会において自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、平成23年11月17日に自己株式3,880,000株(3,325,160千円)を取得して、同年11月28日に自己株式3,880,020株(3,325,177千円)を消却いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,325,177千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月16日 取締役会	普通株式	1,497,711	40	平成24年9月30日	平成24年12月13日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

前連結会計年度末日と比較して株主資本の金額に著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	25,336,534	9,643,027	791,218	35,770,780	—	35,770,780
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	113,809	113,809	△113,809	—
計	25,336,534	9,643,027	905,028	35,884,590	△113,809	35,770,780
セグメント利益	5,003,532	648,541	72,676	5,724,749	△1,291,599	4,433,150

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,291,599千円には、セグメント間取引消去132,751千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,424,350千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化粧品事業」及び「医薬・食品事業」において、事務所の賃借契約解除に伴い内部造作等の減損損失45,901千円を計上しております。また、「化粧品事業」では、製造設備について減損損失40,285千円を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「化粧品事業」73,114千円、「医薬・食品事業」13,072千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	24,196,464	9,591,694	1,179,181	34,967,340	—	34,967,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	117,903	117,903	△117,903	—
計	24,196,464	9,591,694	1,297,084	35,085,243	△117,903	34,967,340
セグメント利益	6,499,638	890,742	104,259	7,494,640	△1,364,715	6,129,924

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,364,715千円には、セグメント間取引消去165,091千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,529,807千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	56円10銭	86円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,142,036	3,229,352
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,142,036	3,229,352
普通株式の期中平均株式数(株)	38,179,155	37,442,767

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 8日

株式会社ノエビアホールディングス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 美 樹 ⑨

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 浦 宏 和 ⑨

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ノエビアホールディングスの平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ノエビアホールディングス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。